

第 2 四半期は営業利益率が堅調で成長が加速。セグメント全体で 2 桁成長。

2022 年度の収益予測は 16.5%~17.5%に上方修正。利幅予測は 22%~24%を維持。

バンガロール (インド) – 2021 年 10 月 13 日: 次世代デジタル・サービスおよびコンサルティングの世界的リーダーであるインフォシス (NSE、BSE、NYSE: INFY) は、第 2 四半期の業績が好調で、実質ベースの前年比成長率は 19.4%に上昇、前四半期期比では 6.3%に加速しました。成長は地域、業界セグメントを問わず広範囲に及んでおり、実質ベースの前年比成長率が最も高かった地域は北米で 23.1%、業界では金融サービスが最大の 20.5%でした。大型案件の勢いも維持しており、第 2 四半期の合計契約金額は 21 億 5000 万ドルでした。同四半期の営業利益率は 23.6%と堅調で、取締役会は 2022 年度の間配当について、1 株当たり 15 ルピーになると発表しました。

最高経営責任者 (CEO) 兼取締役の Salil Parekh は、「輝かしい業績を収め、成長見通しも堅調であるのは、当社が引き続きデジタル・サービスを戦略的に重視し、この分野に強い証です。グローバル企業が急速にデジタルジャーニーを加速し、市場に大きなチャンスが訪れる中、当社は Infosys Cobalt™ による他社とは異なるクラウド戦略など、能力拡大に向けた投資を着実に進めています。これにより、引き続き、顧客への効果的なサービスの提供や市場シェアの獲得が可能となり、市場が求めるクラウドやデジタル変革のパートナーとして台頭するなど、独自の地位を築いているのです」と述べたうえで、「この勢いが続けば、収益成長予測は 16.5%~17.5%へとさらに上がるでしょう」と語りました。



1. 主な業績

2021 年度第 2 四半期

- 実質ベースの売上高は前年同期比 19.4%増、前四半期比 6.3%増
- 報告売上高は 39.98 億ドル、前年同期比 20.7%増
- デジタル売上高は総売上高の 56.1%、前年同期比成長率は実質ベースで 42.4%
- 営業利益率は 23.6%、前年同期比 1.8%減、前四半期比 0.1%減
- 基本 EPS は 0.17 ドル、前年同期比 13.0%増
- フリーキャッシュフローは 7.12 億ドル、前年同期比 5.6%増、フリーキャッシュフロー・コンバージョンは純利益の 97.1%

2021 年度上半期

- 実質ベースの売上高は前年比 18.1%増
- 報告売上高は 77.80 億ドル、前年比 21.0% 増
- デジタル売上高は総売上高の 55.0%、前年比成長率は実質ベースで 42.2%
- 営業利益率は 23.6%、前年比 0.4%減
- 基本 EPS は 0.34 ドル、前年比 19.0%増
- フリーキャッシュフローは 15.75 億ドル、前年比 12.3%増、フリーキャッシュフロー・コンバージョンは純利益の 109.5%

最高執行責任者の Pravin Rao は、「市場機会の可能性を最大限に活かすために、当社は大卒者の採用プログラムを年間 4 万 5000 人にまで拡大しています。同様に、心と身体の健康対策、再教育プログラム、適切な報酬介入、キャリアにおける成長機会の拡大を含む従業員への価値提案（EVP）の強化を続けています」と述べました。また、「インドの当社従業員の 86%以上が少なくとも 1 回のワクチン接種を済ませており、ハイブリッドな勤務形態の導入に向けた準備が整いつつあります。従業員には、生産性やサイバーセキュリティを確保しつつ接続状態を保ち（コネクテッド）、ワークライブバランスを維持できるようにするためのリソースが提供されています。人材戦略においても、採用プールの新たなコミュニティや勤務場所などへの拡大を考慮しています」と述べています。

最高財務責任者の Nilanjan Roy は、「第 2 四半期の営業利益率は堅調で、従業員への価値提案（EVP）イニシアチブを強化した影響は、好調な営業パラメータやコスト最適化、営業レバレッジにより相殺されました。引き続き従業員への投資を行い、従業員に選ばれる企業として、顧客の要求にシームレスに 대응していきます」と述べました。さらに、「現金創出は引き続き堅調です。当社は資本配分方針を実行し、自社株の買戻しに成功するとともに、中間配当を 1 株当たり 15 ルピーに引き上げました」と述べました。

2. 資本配分

当社は 9 月 8 日に公開市場において 1 株当たり平均 1,649 ルピーまでの価格（1 株当たり 1,750 ルピーの最大買戻価格との比較）での自社株買いを完了しました。その結果、株式資本は 1.31%減少しました。これにより、2020 年度および 2021 年度のフリーキャッシュフローは、配当や株式買戻しにより最大 82%のリターンを実現しました。

取締役会は 2022 年度の間配当が 1 株当たり 15 ルピーになると発表しました。

3. 顧客の獲得と証言

- 当社は先頃、企業が B2B や B2C のバイヤーに対して、ハイパーセグメント化され、パーソナライズされたオムニチャネルの商取引体験を安全に提供するのに役立つ **Infosys Equinox** を発売しました。**クラフト・ハイツ・カンパニーの Eric Nelson 北米最高情報責任者**は次のように述べています。「Infosys Equinox はデジタルハブとして、250 の当社グローバルブランドサイトや B2B の販売サイトやレシピサイト、消費者直接取引（D2C）イニチアチブに寄与しており、当社は新規ブランドサイトをわずか 3~5 日で立ち上げることができます。このプラットフォームは当社のハイパーパーソナライズのイニチアチブもサポートしており、マーケティングプログラムのためにリアルタイムでインサイトを抽出しています。Infosys Equinox があれば、当社はより豊かでパーソナライズされた有意義な体験を顧客に提供することが可能です。」
- 当社は第 1 四半期にドイツのシュトゥットガルトに **Automotive Digital Technology and Innovation Center（自動車デジタル技術イノベーションセンター）** を開設し、自動車セクターにおけるイノベーションと IT インフラ変革への戦略的コミットをさらに強化しました。**Daimler and Mercedes-Benz（ダイムラー）の Jan Brecht 最高情報責任者**は次のように述べています。「ソフトウェアがモジュール化し、IT インフラが拡大し続ける中、Daimler は IT ランドスケープの変革を統合、スケーリング、近代化の 3 つの同時ステップで行います。インフォシスは、ドイツに Infosys Automotive and Mobility GmbH を設立したことで、我々自動車業界と共に成長し、当社従業員にエキサイティングなキャリアの機会を提供することにコミットしています。このセンターはまた、自動車業界のクラウドおよびインフラサービスの新たな基準を定めるものとなるでしょう。この提携を通して、当社が技術投資と提携戦略を総合的に強化できることを嬉しく思います。」
- Frost Bank と当社は先頃、新たな住宅ローン商品を発売しました。**Frost Bank の Phil Green 会長兼 CEO** は、「住宅ローンを他の消費者ローン商品と共に販売することは、進化する顧客ニーズに応えるうえで不可欠であり、Frost の体験をより多くのテキサスの人々にもたらすでしょう」としたうえで、「インフォシスのような世界的企業と作業することで、我々は最初から最後まで全プロセスに関わることができ、当社の業界トップの顧客サービス体験を住宅ローンに生かすことが可能です」と述べました。
- 当社は The Economist Group と **持続可能性**に関する新たな戦略的提携を発表しました。**The Economist Group の Lara Boro 最高経営責任者（CEO）**は次のように述べています。「持続可能な

未来はクリエイティブな連携にかかっています。このエキサイティングなインフォシスとの提携は、強みを集結させることがいかにイノベーションを加速し、進歩の追求において効果を増大させるかを示すものです。」

- オマーンの大手銀行 BankDhofar は **Finacle Digital Banking Suite** を用いた 3 つのフェーズから成る近代化プログラムに成功しました。**BankDhofar の Abdul Hakeem Omar Al Ojaili 最高経営責任者** は次のように述べています。「Infosys Finacle による新たなデジタルファースト・バンキングプラットフォームにより、BankDhofar Vision 2020 が今現実となっていることを嬉しく思います。技術のアップグレードやチャネルの強化、プロセスの改善、データの再構成、支店の近代化、文化の変革をカバーする当社の変革プログラムが現在かなり進んでおり、最終顧客の混乱もないことに満足しています。本番稼働後には BankDhofar が技術リーダーシップや機能カバレッジにおいて最高ランクに位置すると確信しています。当社は今や、オマーンでリーダーの地位を強化する中、新たなプラットフォームにより、支店でもデジタルチャネルでもお客様に世界最高クラスのバンキング機能を提供できる態勢が整っています。」
- 英国の大学入試機関（UCAS）は先頃、当社と**大規模なコア技術の連携**を発表しました。**UCAS の Sander Kristel 最高執行責任者（COO）** は次のように述べています。「インフォシスとの新たな合意の重要性と、これが UCAS のスタッフや顧客にもたらすメリットは強調しきれないほどです。今回の合意は両社の提携関係を大きく進め、業務全体の自動化やイノベーション、効率化に幅広く注力するものであり、当社の今後の戦略を成功させる鍵を握ります。」
- **インフォシス・リビングラボ**はグローバル企業のベンチャーキャピタル部門と提携して、技術革新を行う企業のポートフォリオを相互に強化しています。**Telstra Ventures の Matthew Koertge 社長** は次のように述べています。「インフォシスと提携することで、インフォシスの世界的な顧客基盤に当社のポートフォリオ企業がアクセスすることが可能となり、投資先企業が頂点を極めるサポートができると思うと胸が高鳴ります。インフォシスは高品質なサービス提供という豊かな財産やグローバルなアクセスを当社の投資先企業にもたらしています。当社は Lighthouse Technologies に成長投資を行っており、インフォシス・リビングラボは、顧客がスタートアップのソリューションを導入する際のリスクを緩和しつつ、クラス最高の技術革新を取り入れる大きな機会を与えてくれています。」
- インフォシス公共サービス事業部は先頃、米カリフォルニア州リバーサイド郡の公共記録管理業務の近代化に向けた**ブロックチェーンネットワーク**を開始しました。**リバーサイド郡の査定・郡書記・法務官である Peter Aldana 氏**は、「リバーサイド郡の査定・郡書記・法務官としての目標は、記録管理や保険の記録、資産評価をタイムリーで安全且つコスト効率の良い方法で行うことです」としたうえで、「ブロックチェーン技術の導入は当社のデジタル変革ジャーニーを大きく目標へと進めるでしょう」と語りました。

4. 表彰

- Azure AI の卓越した能力に対して 2021 年 Microsoft US Partner Award を受賞
- 偉大な雇用者として Stevie® Awards の 4 部門を受賞
- HfS 社の Banking and Financial Services Providers Top 10, 2021 で第 1 位にランクイン
- Gartner - Magic Quadrant for IT Services for Communications Service Providers, Worldwide でリーダーの評価
- The Forrester Wave™ - Application Modernization and Migration Services, Q3 2021 でリーダーの評価
- Everest - Data and Analytics (D&A) Services PEAK Matrix® Assessment 2021 でリーダーの評価
- Everest - Envisioning the Connected Future: 5G Engineering Services PEAK Matrix Assessment 2021 でリーダーの評価
- IDC - MarketScape Asia/Pacific Managed Cloud Services 2021 Vendor Assessment でリーダーの評価
- IDC - MarketScape Worldwide Life Science R&D ITO Services Vendor Assessment でリーダーの評価
- IDC MarketScape - European Smart Manufacturing Service Providers 2021 Vendor Assessment でリーダーの評価
- NelsonHall - Wealth and Asset Management NEAT Evaluation 2021 でリーダーの評価
- Constellation - Public Cloud Transformation Services: Global でリーダーの評価
- Constellation - Customer Experience Operation Services: Global でリーダーの評価
- Constellation - Campaign to Commerce: Best of Breed Commerce Platforms でリーダーの評価
- Everest Microsoft Dynamics 365 Services PEAK Matrix® Assessment 2021 でリーダーの評価

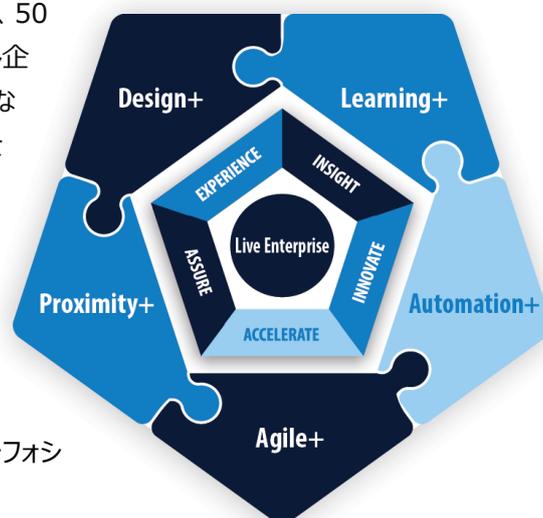
- Forrester in Forrester Wave™: Digital Banking Engagement Platforms, Q3 2021 レポートで Infosys Finacle がリーダーの評価
- Forrester 社の Forrester Wave™: Digital Banking Engagement Hubs, Q3 2021 レポートで Infosys Finacle がリーダーの評価
- IDC MarketScape: Worldwide B2B Commerce Services for Industrial Manufacturing 2021 Vendor Assessment でリーダーの評価
- ISG Provider Lens™ Cybersecurity Services and Solutions 2021 for U.S でリーダーの評価
- North America Utilities leader in ISG Provider Lens™ 2021 Report でリーダーの評価
- ISG Provider Lens™ SAP HANA Ecosystem Services in U.S. 2021 and Germany 2021 Quadrant Report でリーダーの評価
- ISG Provider Lens™ 'Internet of Things – Services and Solutions 2021' レポートで「グローバル」リーダーの評価
- ISG Provider Lens™ の Next-Gen Private/Hybrid Cloud - Data Center Services and Solutions 2021 で米国におけるリーダーの評価
- ISG Provider Lens™ の Network - Software Defined Solutions and Services 2021 でオーストラリア、UK、および北欧諸国地域におけるリーダーの評価
- RadarView™ の Avasant Digital Talent Capability 2021 でリーダーの評価

インフォシスについて

インフォシスは次世代デジタルサービスとコンサルティングのグローバルリーダーで、50 か国のお客様のデジタル変革を実現しています。40 年以上に渡り、グローバル企業のシステムと業務を管理してきた経験から、お客様のデジタル変革に専門的な支援を提供します。たとえば AI による変更実行の優先順位付けを利用して企業がデジタル化を実現できるようにします。また、前例のない業績レベルを提供し、お客様に喜んでいただけるように大規模なアジャイルデジタルで業務を支援します。当社の絶えず学習するという方針に基づいて、革新エコシステムのデジタル技術、専門知識、アイデアが構築、伝達され、継続的な改善が推進されています。

リンク先 www.infosys.com では、企業が次のステージに進むために、インフォシス (NYSE: INFY) がどのように支援できるのかをご紹介します。

DIGITAL NAVIGATION FRAMEWORK



セーフハーバー条項

本リリースに掲載されている報告書の一部は、1995年私募証券訴訟改革法の「セーフハーバー」条項の適用を意図した当社の将来的な成長と今後の配当、財務的期待、当社の従業員、顧客およびステークホルダーへの COVID-19 の影響を管理するための計画を予測するものであり、そこには多くのリスクや不確定要素が介在しているため、実績と大きく異なる場合があります。このようなリスクおよび不確定要素としては、COVID-19 に関連するリスクと不安定要素、その拡散を抑制するための政府およびその他の対策の効果、インド、米国、世界のその他の国々の景気低迷や不況に関連するリスク、政治、ビジネスおよび経済環境の変化、収益や外国為替相場の変動、当社の成長管理能力、費用効率に影響する可能性のある IT サービス分野における競争の激化、インドにおける人件費の高騰、高い技能をもつ専門的な人材を確保する当社の能力、固定価格・固定時間による契約における時間や経費の超過、顧客の集中化、出入国制限、業界セグメントの集中化、国際業務を管理する当社の能力、当社の主力分野であるテクノロジーの需要低下、通信ネットワークの崩壊あるいはシステムの故障、企業買収を成功させる当社の能力、当社サービス契約に対する損害賠償責任、戦略投資した企業の業績、政府援助の打ち切り、政治不安および地域紛争、インド国外での増資・企業買収に対する法的制限、当社知的所有権の不正使用、この業界に影響を与える経済情勢などが考えられます。将来の営業業績に影響すると考えられるその他リスクについては、2020年会計年度年次報告書（Form 20-F）を含め、米国証券取引委員会へ提出された当社報告書に詳細に記載されています。これらの報告書は、www.sec.gov でご覧いただけます。当社は、米国証券取引委員会および株主への報告書内の情報を含め、書面または口頭で将来の展望を随時発表する場合がありますが、法律により義務付けられている場合を除き、随時発表する将来の展望について更新する義務を負わないものとします。

連絡先

投資関連

Sandeep Mahindroo
+91 80 3980 1018

Sandeep_Mahindroo@infosys.com

メディア関連

Rishi Basu
+91 80 4156 3998

Rajarshi.Basu@infosys.com

Harini Babu
+1 46999 63516

Harini_Babu@infosys.com

インフォシス リミテッドと子会社

IFRS に基づく連結連結貸借対照表要約 (抜粋)

(100 万ドル)

	2021 年 9 月 30 日	2021 年 9 月 30 日
資産		
流動資産		
現金および現金等価	2,432	3,380
短期投資	671	320
売掛金	2,711	2,639
未請求収益	1,268	1,030
その他の流動資産	1,002	938
流動資産合計	8,084	8,307
非流動資産		
有形固定資産および使用権資産	2,429	2,519
のれんおよびその他無形資産	1,080	1,115
非短期投資	1,360	1,623
未請求収益	102	81
その他非流動資産	1,240	1,180
非流動資産合計	6,211	6,518
資産合計	14,295	14,825
負債および資本		
流動負債		
買掛金	428	362
前受収益	592	554
従業員給付債務	301	276
その他流動負債	2,409	2,072
流動負債合計	3,730	3,264
非流動負債		
リース負債	587	627
その他非流動負債	501	432
非流動負債合計	1,088	1,059
負債合計	4,818	4,323
親会社の所有者に帰属する持分合計	9,420	10,442
非支配持分	57	60
資本合計	9,477	10,502
負債および資本の合計	14,295	14,825

IFRS に基づく連結包括損益計算書要約 (抜粋) :

(100 万ドル、株式データおよび 1 株当たり純資産データを除く)

	2021 年度 第 2 四半期	2020 年度 第 2 四半期	2021 年度 上半期	2020 年度 上半期
売上収益	3,998	3,312	7,780	6,433
売上原価	2,675	2,125	5,184	4,196
売上総利益	1,323	1,187	2,596	2,237
営業費用:				
販売費	167	153	336	305

	2021 年度 第 2 四半期	2020 年度 第 2 四半期	2021 年度 上半期	2020 年度 上半期
管理費	215	194	423	385
営業費用合計	382	347	759	690
営業利益	941	840	1,837	1,547
その他の収益(純額) ⁽³⁾	65	70	142	128
税引前利益	1,006	910	1,979	1,675
法人所得税費用	272	255	540	456
純利益 (少数株主利益調整前)	734	655	1,439	1,219
純利益 (少数株主利益調整後)	733	653	1,437	1,212
基本 EPS (\$)	0.17	0.15	0.34	0.29
希薄化後 EPS (\$)	0.17	0.15	0.34	0.29

注:

1. 上記の情報は、2021年10月13日開催の取締役会で記録された2021年度第2四半期および2021年度上半期の要約された監査済み連結貸借対照表および包括損益計算書から抜粋したものです。
2. 当社の業績に関する概況報告書はwww.infosys.comからダウンロードできます。
3. その他収益には財務費用を含みません。